

平成 25年 7月24日
NTT西日本 静岡支店

広域防災情報伝達システム実証実験(焼津市)について

NTT西日本 静岡支店(支店長:相浦 司)は、住民への災害情報伝達手段の多様化として、焼津市街地の津波浸水想定地域で情報伝達実証実験を行います。

本システムは光と音、文字情報を組み合わせ、災害時に分かりやすい情報提供のみならず、土地勘のない人への情報伝達としても有効な手段です。光フラッシュによるサインで災害発生の“気づき”や避難方向の目印を提供すること、および広域かつ明瞭に放送できるスピーカー(ホーンアレイスピーカー)と大型LED情報版での文字情報を連動させて情報伝達いたします。

本実証実験では焼津市内津波避難タワー(会下ノ島地区)にシステムを設置し、その性能と有効性を検証します。

1. 開催日時

平成25年7月30日(火) 10時50分～12時 焼津市様
14時20分～15時30分 一般参加等

2. 実施場所

(1) 機器設置場所(裏面参照)

焼津市内津波避難タワー(会下ノ島地区)

(2) 確認ポイント

津波避難タワー直下

約400m地点(蔵珠院付近)

約600m地点(スパー パロー 石津店 付近)

約800m地点(焼津市与惣次297付近)

3. 実験方法

(1) 音声による情報伝達実験(スピーカー放送)

確認ポイントごとに、従来型防災無線用スピーカーとホーンアレイスピーカー(新)の比較

(2) 文字、光サインによる情報伝達実験

・LED情報版による情報伝達実験(赤文字による表示)

・広域誘導フラッシュ(放送時は点滅)

掲載されている内容は、報道発表時のものです。

最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。